

2010年 1 月31日 実施

平成21年度（第42回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 4 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

- 解答群

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

B 群

- 【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 指や専用のペンなどで画面に触れることにより、指示やデータを入力する装置。
ア．OCR イ．イメージスキャナ ウ．タッチパネル
- ある規則にしたがって内容が分からないように変換されたデータを、元のデータに戻すこと。
ア．暗号化 イ．復号 ウ．解凍
- プリンタに出力する文字や画像を構成する最小の要素である点。
ア．CMYK イ．RGB ウ．ドット
- ADSLで用いられ、音声信号とデータ信号に分離する装置。
ア．CATVモデム イ．ONU ウ．スプリッタ
- 情報処理システムや工業製品における技術の発達・標準化を進めることを目的として設立された国際標準化機構。
ア．ISO イ．IEEE ウ．JIS

【4】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 次の表は、ある旅行会社の催行ツアー一覧表である。B 列の「渡航先名」は、A 列の「旅コード」の左端から 3 けた目より 2 文字を「渡航先番号」として抽出し、数値データに変換したものをもとに、渡航先一覧表を参照して表示する。B 4 に設定する次の式の空欄にあてはまる関数として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式を B 5 ～ B 6 にコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	催行ツアー一覧表			渡航先一覧表		
3	旅コード	渡航先名	日数	渡航先番号	渡航先名	
4	IT01-07	ローマ	7	1	ローマ	
5	IT03-08	フィレンツェ	8	2	ミラノ	
6	IT05-10	三都市周遊	10	3	フィレンツェ	
7				4	カプリ島	
8				5	三都市周遊	

(注) TRUEは省略可。

=VLOOKUP(VALUE(),(A4,3,2)),(\$E\$4:\$F\$8,2,TRUE)

- ア. LEFT イ. MID ウ. RIGHT

問 2. 次の表は、ある寿司早握り大会の結果表である。大会分析表の「最高貫数」は、男女別に「貫数」の最大値を求める。H 5 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式を I 5 にコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	寿司早握り大会結果表					大会分析表			
3	番号	出場者名	性別	貫数	順位			性別	性別
4	1	明石	男	36	5			男	女
5	2	黒田	男	37	4	最高貫数	41	36	
6	3	小森	男	41	1	平均貫数	38.6	34.3	
7	4	曾我	女	36	5				
8	5	田沢	女	34	7				
9	6	橋爪	男	40	2				
10	7	柳原	男	39	3				
11	8	和田	女	33	8				

- ア. =DAVERAGE(\$A\$3:\$E\$11,4,H3:H4)
イ. =DMAX(\$A\$3:\$E\$11,4,H3:H4)
ウ. =DMIN(\$A\$3:\$E\$11,4,H3:H4)

問 3. 次の表は、ある水泳大会の 4 × 200 m リレー結果表である。上位 3 か国までが表彰される。F 列の「国名」は、B 列の「タイム」の速い順に 3 位まで表示する。F 4 に設定する次の式の空欄にあてはまる関数として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式を F 5 ～ F 6 にコピーするものとする。また、同タイムはないものとする。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	4 × 200 m リレー結果表					表彰国一覧表
3	コース	タイム	国名	順位	国名	
4	1	07:02	オーストラリア	1	アメリカ	
5	2	07:04	ドイツ	2	ロシア	
6	3	07:01	日本	3	日本	
7	4	06:58	アメリカ			
8	5	07:05	イギリス			
9	6	06:59	ロシア			
10	7	07:08	イタリア			
11	8	07:06	南アフリカ			

(注) FALSEは 0 でも可。
「タイム」の表示形式は、分：秒とする。
例 07:02は、7 分 2 秒を表す。

=VLOOKUP(,(\$B\$4:\$B\$11,E4),(\$B\$4:\$C\$11,2,FALSE)

- ア. SMALL イ. LARGE ウ. MIN

問 4. 次の表は、ある学級の本日の時間割を表示する表である。次の(1)、(2)に答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2	本日			本日の時間割							
3	2010年1月29日	金	曜日	時限	1	2	3	4	5	6	
4				科目	数 I	簿記	ビ基	保健	国総	世 A	
5	曜日照合表										
6	曜日番号	1	2	3	4	5	6	7			
7	曜日	日	月	火	水	木	金	土			
8	時間割表										
9	曜日\時限	1	2	3	4	5	6				
10	月	商流	簿記	国総	英 I	ビ基	数 I				
11	火	世 A	理総	体育	ビ基	簿記	英 I				
12	水	英 I	体育	商流	簿記	理総	国総				
13	木	ビ基	数 I	家庭	家庭	総学	L H R				
14	金	数 I	簿記	ビ基	保健	国総	世 A				

(注) 本日は、2010年 1 月 29 日とする。

(1) B 3 の曜日は、A 3 の日付をもとに、曜日照合表を参照して表示する。B 3 に設定する次の式の空欄にあてはまる適切な関数を選び、記号で答えなさい。

=HLOOKUP(,A3),B6:H7,2,TRUE)

- ア. NOW イ. TODAY ウ. WEEKDAY

(2) F 4 ～ K 4 の本日の時間割は、B 3 の曜日をもとに、時間割表を参照して表示する。なお、B 3 の曜日が 土 または 日 の場合は、休 を表示する。F 4 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式を G 4 ～ K 4 にコピーするものとする。

- ア. =IF(OR(\$B\$3="土", \$B\$3="日"), "休", VLOOKUP(\$B\$3, \$A\$11:\$G\$15, F3+1, FALSE))
イ. =IF(OR(\$B\$3="土", \$B\$3="日"), "休", VLOOKUP(\$B\$3, \$A\$11:\$G\$15, F3, FALSE))
ウ. =IF(OR(\$B\$3="土", \$B\$3="日"), "休", VLOOKUP(\$B\$3, \$A\$11:\$G\$15, 2, FALSE))

【5】 次の表は、あるウォーキング協会で主催したウォーキングイベント実施状況の一覧表である。処理条件にしたがって、各問いの答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		ウォーキングイベント実施状況一覧表								
3										
4	イベントコード	イベント名	目的コード	目的	歩行距離(km)	レベル	参加人数	参加率	順位	備考
5	B01	江戸歴史紀行	B	文化歴史	9.8	一般	130	86.7%	3	※
6	B02	鎌倉紫陽花散歩	B	文化歴史	8.6	一般	94	62.7%	7	※
7	H01	源泉を訪ねて	H	ハイキング	9.1	健脚	100	66.7%	5	※
8	S01	里の味覚紀行	S	自然	16.4	健脚	125	83.3%	4	※
9	S02	新緑を訪ねて	S	自然	15.7	健脚	136	90.7%	2	※
10	S03	森林浴紀行	S	自然	5.5	一般	92	61.3%	8	※
11	B03	庭園散策	B	文化歴史	7.5	一般	140	93.3%	1	※
12	S04	田園風景紀行	S	自然	9.5	一般	95	63.3%	6	※
13	H02	晩秋の展望紀行	H	ハイキング	11.5	健脚	65	43.3%	10	※
14	H03	秘湯をめざして	H	ハイキング	9.5	健脚	78	52.0%	9	※
15										
16		目的別集計表					レベル別集計表			
17			目的コード	目的コード	目的コード			レベル	レベル	
18			H	B	S			一般	健脚	
19		目的	ハイキング	文化歴史	自然		レベル別人数合計	551	504	
20		目的別人数合計	243	364	448					
21		目的別人数平均	81	121	112					

(注) ※印は、値の表記を省略している。

処理条件

1. A列の「イベントコード」の左端から1けた目は、目的別集計表の「目的コード」を示している。
2. C列の「目的コード」は、A列の「イベントコード」の左端から1文字を抽出して求める。
3. D列の「目的」は、C列の「目的コード」をもとに、目的別集計表を参照して表示する。
4. F列の「レベル」は、E列の「歩行距離(km)」が15.0以上か、またはC列の「目的コード」がHの場合は健脚を表示し、それ以外は一般を表示する。
5. H列の「参加率」は、ウォーキング協会の会員数150名に対するG列の「参加人数」の割合を次の式で求める。
ただし、小数第3位未満を四捨五入して、％表示で小数第1位まで表示する。
「参加人数 ÷ 150」
6. I列の「順位」は、G列の「参加人数」を基準として、降順（逆順）に順位をつける。
7. J列の「備考」は、F列の「レベル」が健脚で、かつH列の「参加率」が80.0%以上の場合は○を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。
8. 目的別集計表の「目的別人数合計」は、目的コードごとに「参加人数」の合計を求める。
9. 目的別集計表の「目的別人数平均」は、目的コードごとに「参加人数」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
10. レベル別集計表の「レベル別人数合計」は、レベルごとに「参加人数」の合計を求める。

問1. D5に設定する式を答えなさい。

問2. I5に設定する式を答えなさい。

問3. J列に表示される○の数を答えなさい。

問4. C21に設定する式を答えなさい。

問5. I19に設定する式を答えなさい。

解答群

ア. =DAVERAGE(\$A\$4:\$J\$14, 7, C17:C18)

ウ. =SUM(\$G\$5:\$G\$14)/COUNTIF(\$C\$5:\$C\$14, C18)

オ. =DSUM(\$A\$4:\$J\$14, 7, J17:J18)

キ. =VLOOKUP(C5, \$C\$18:\$E\$19, 2, FALSE)

ケ. 2

サ. 7

ス. =RANK(H5, \$H\$5:\$H\$14, 1)

イ. =DAVERAGE(\$A\$4:\$J\$14, 8, C17:C18)

エ. =DSUM(\$A\$4:\$J\$14, 7, I17:I18)

カ. =HLOOKUP(C5, \$C\$18:\$E\$19, 1, FALSE)

ク. =HLOOKUP(C5, \$C\$18:\$E\$19, 2, FALSE)

コ. 5

シ. =RANK(G5, \$G\$5:\$G\$14, 1)

セ. =RANK(G5, \$G\$5:\$G\$14, 0)

商品コード	商品名	メーカーコード	容量	価格
D01	ソーダ	M01	200	100
D02	ミネラルウォーター	M02	200	120
D03	オレンジジュース	M03	250	120
D04	アップルジュース	M02	250	130
D05	紅茶	M01	350	110
D06	緑茶	M02	350	120
D07	スポーツドリンク	M03	500	130

(ml)

(円)

メーカーコード	メーカー名
M01	A社
M02	B社
M03	C社

場所コード	場所名
B01	駅前
B02	商店街
B03	公園付近

売上管理番号	場所コード	商品コード	本数
2010011501	B01	D01	10
2010011502	B01	D02	14
2010011503	B01	D03	8
2010011504	B01	D04	40
2010011505	B01	D05	35
2010011506	B01	D06	9
2010011507	B01	D07	20
2010011508	B02	D01	14
2010011509	B02	D02	20
2010011510	B02	D03	15
2010011511	B02	D04	30
2010011512	B02	D05	40
2010011513	B02	D06	15
2010011514	B02	D07	10
2010011515	B03	D01	12
2010011516	B03	D02	7
2010011517	B03	D03	20
2010011518	B03	D04	32
2010011519	B03	D05	40
2010011520	B03	D06	10
2010011521	B03	D07	20

- (1) SELECT メーカー名 FROM メーカー表 WHERE メーカーコード = 'M03'
- (2) SELECT 商品名 FROM 商品表 WHERE 容量 >= 350 AND 価格 <= 120
- (3) SELECT 場所名, 商品名 FROM 商品表, 場所表, 売上表
WHERE 場所表. 場所コード = 売上表. 場所コード
AND 商品表. 商品コード = 売上表. 商品コード
AND 売上表. 場所コード = 'B01' AND 本数 < 10

ア.	A社	イ.	B社	ウ.	C社	エ.	紅茶	オ.	紅茶
									緑茶
カ.	紅茶	キ.	駅前	ケ.	駅前		ソーダ		
	緑茶		駅前		駅前		ミネラルウォーター		
	スポーツドリンク				駅前		オレンジジュース		
		ク.	駅前		駅前		アップルジュース		
			駅前		駅前		紅茶		
			駅前		駅前		緑茶		
			駅前		駅前		スポーツドリンク		

場所名	商品名	本数
商店街	ソーダ	14
商店街	紅茶	40

ア. 場所表, 売上表 イ. メーカー表, 場所表, 売上表 ウ. 商品表, 場所表, 売上表
エ. メーカーコード = 'M01' オ. 売上表, 商品コード = 'D01' カ. 本数 >= 14

(平成22年1月31日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	
				(1)	(2)

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【6】	問 1			問 2	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成22年1月31日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	オ	キ	ア	ケ	ウ	

【2】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	オ	カ	イ	ケ	エ	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	ウ	イ	ウ	ウ	ア	

【4】	問1	問2	問3	問4		各4点 計20点
				(1)	(2)	
	イ	イ	ア	ウ	ア	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ク	セ	ケ	ア	エ	

【6】	問1			問2		各4点 計20点
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	
	ウ	オ	キ	ウ	エ	

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計
100

2010年 1 月31日 実施

平成21年度（第42回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって，A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 1 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって，1 ページで印刷してください。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

次の表は、ある学生食堂の 1 週間の売り上げを一覧表にまとめたものである。処理条件にしたがって、表とグラフを作成しなさい。なお、A 1 のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

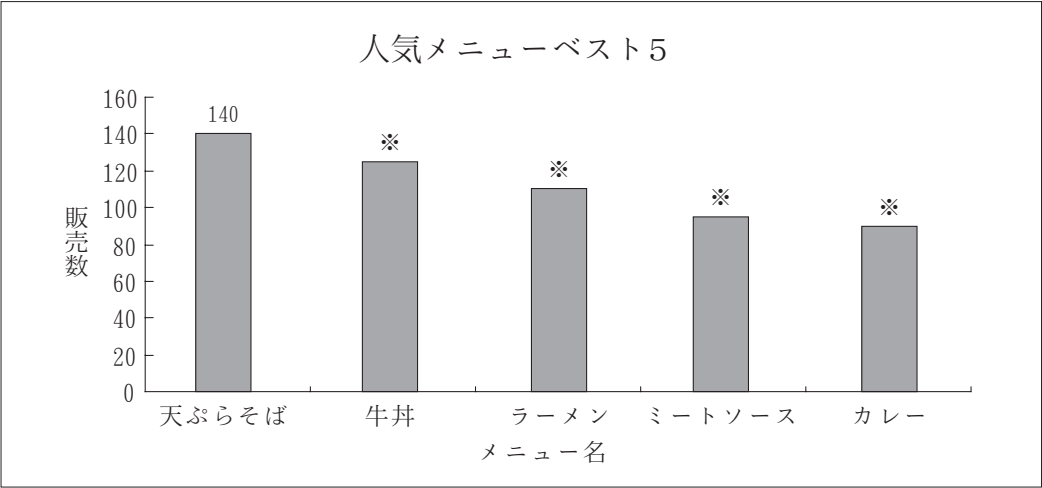
16

17

18

A	B	C	D	E	F	G	H
売上一覧表							
コード	メニュー名	分類名	販売数	単価	売上金額	売上比率	判定
N-MT300	ミートソース	めん類	95	300	28,500	13.48%	B
N-RM270	ラーメン	※	110	※	※	※	※
N-TP220	天ぷらそば	※	140	※	※	※	※
R-CU250	カレー	※	90	※	※	※	※
R-GY340	牛丼	※	125	※	※	※	※
S-KK400	コロッケ定食	※	65	※	※	※	※
S-KR420	から揚げ定食	※	75	※	※	※	※
売上金額合計					※		

分類別集計表				販売数判定表			
分類コード	N	R	S	以上	以下	判定	
分類名	めん類	ごはん類	定食類	0	79	C	
販売数計	345	※	※	80	99	B	
売上金額計	89,000	※	※	100		A	



処理条件

1. 表の形式および体裁は、上の表を参考にして設定する。
設定する書式：罫線，列幅，数値につける 3 けたごとのコンマ
2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。
3. C 列の「分類名」は、A 列の「コード」の左端から 1 文字を抽出し、分類別集計表を参照して表示する。
4. E 列の「単価」は、A 列の「コード」の右端から 3 文字を抽出し、数値データに変換する。
5. F 列の「売上金額」は、次の式で求める。
「販売数 × 単価」
6. 12 行目の「売上金額合計」は、F 列の「売上金額」の合計を求める。
7. G 列の「売上比率」は、次の式で求める。ただし、% 表示で小数第 2 位まで表示する。
「売上金額 ÷ 売上金額合計」
8. H 列の「判定」は、D 列の「販売数」をもとに、販売数判定表を参照して表示する。
9. 分類別集計表の「販売数計」は、分類名ごとに「販売数」の合計を求める。
10. 分類別集計表の「売上金額計」は、分類名ごとに「売上金額」の合計を求める。
11. 表の作成後、5 ～11 行目のデータを、D 列の「販売数」を基準として、降順（逆順）に並べ替える。
12. 棒グラフは、処理条件11の並べ替えの処理をしたあと、表より販売数の上位 5 つのメニューの範囲を指定する。
(1) グラフの※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
(2) グラフの数値軸目盛は、最小値（0），最大値（160）および間隔（20）を設定する。
(3) 軸ラベルの方向を設定する。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

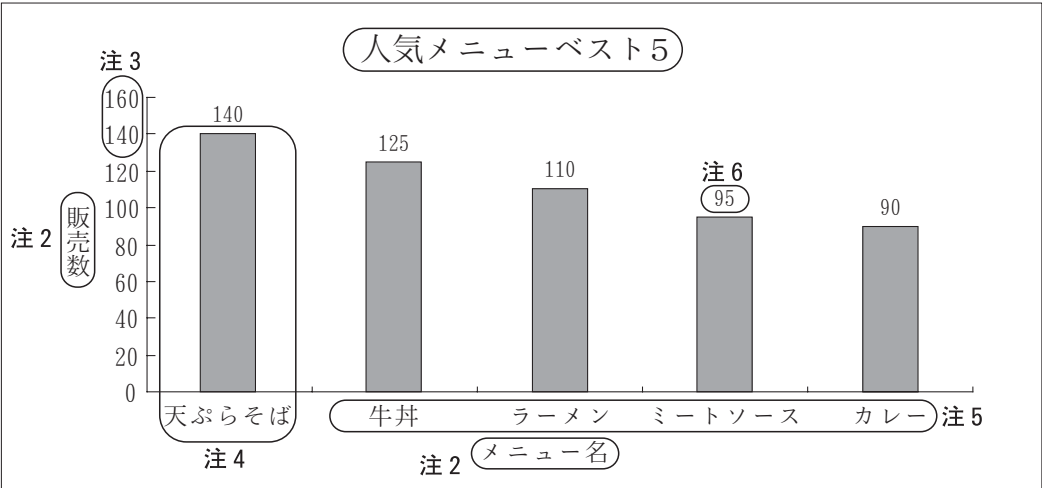
平成21年度（第42回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技
審査基準

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	売上一覧表							
3								
4	コード	メニュー名	分類名	販売数	単価	売上金額	売上比率	判定
5	N-TP220	天ぷらそば	めん類	140	220	30,800	14.56%	A
6	R-GY340	牛丼	ごはん類	125	340	42,500	20.09%	A
7	N-RM270	ラーメン	めん類	110	270	29,700	14.04%	A
8	N-MT300	ミートソース	めん類	95	300	28,500	13.48%	B
9	R-CU250	カレー	ごはん類	90	250	22,500	10.64%	B
10	S-KR420	から揚げ定食	定食類	75	420	31,500	14.89%	C
11	S-KK400	コロッケ定食	定食類	65	400	26,000	12.29%	C
12	売上金額合計					211,500		
13								
14	分類別集計表				販売数判定表			
15	分類コード	N	R	S	以上	以下	判定	
16	分類名	めん類	ごはん類	定食類	0	79	C	
17	販売数計	345	215	140	80	99	B	
18	売上金額計	89,000	65,000	57,500	100		A	

注1

配点（表の作成）

- ① の箇所…… 5 点×12箇所＝60点
- 注1 コード R-CU250 が B で、S-KR420 が C であること。
- ② 罫線…… 5 点（3 つの表のすべての罫線が正確にできていること）



配点（グラフの作成）

- の箇所…… 5 点× 7 箇所＝35点
- 注2 軸ラベルは、方向、文字が正しく設定されていること。
- 注3 数値軸目盛は、最大値（160）および間隔（20）が正しく設定されていること。
- 注4 天ぷらそばが縦棒グラフになっていれば、正解とする。
- 注5 「メニュー名」の並び順があっていること。
- 注6 データラベルは、数値（95）が正しく表示されていること。
- 体裁は、アプリケーションによって異なるので、採点対象とはしない。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。